

ごあいさつ



**Surfing 2020から
児童労働
撤廃国際年へ**
ACE代表 菅野由希

2019-2020年度もACEの活動へのご支援・ご協力をいただきましたありがとうございます。コロナ禍はインド・ガーナの支援地の子どもたち・家族の生活にも大きな影響があり、食糧支援等を決定、ACE全体の収入減の対応をしつつ事務所を手放し完全在宅勤務の体制を整えました。上手くは出来なかったかもしれないけどなんとかサーフしてきたこの1年、コロナ禍の影響を誰もが受ける中、活動を継続して支えていただいた皆様により感謝申し上げます。そして2021年は児童労働撤廃国際年。世界的に児童労働の増加が懸念される中、ACEが発信者となって、日本からSDGs8.7達成に向けたアクションを促していきたい！と願っています。



**今こそ、
世界がひとつに
つながる力を信じて**
ACE事務局長 白木朋子

人々の記憶に深く刻まれた2020年。厳しい中でも活動を支え続けてくださったみなさまに、心より感謝申し上げます。温かご支援のおかげで、インドやガーナの子どもや家族が希望を失うことなく生きていけるよう、活動を続けることができました。ガーナ政府とともに「児童労働フリーゾーン」のガイドライン施行を実現できたことは、大きな一歩となりました。コロナ禍は、様々な格差による深い痛みが、日本でも世界でもフラクタル(相似形)に起きていることを鮮明にしました。今を、構造的に起きている課題に変化をもたらす機会と捉え、支え合いのつながりをさらに力に変えて、みなさんと一緒に歩み続けていきたいと思えます。

2019年度会計報告ハイライト

(2019年9月1日～2020年8月31日)

財務状況の分析

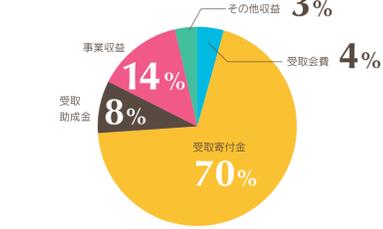
当年度は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた1年でした。経常収益は1億363万円(予算比73%)、経常支出が1億1,787万円(予算比87%)となり、当期正味財産増減額は、1,440万円の赤字でした。新型コロナウイルスの影響を受け、大型

チャリティイベントの中止に伴う寄付金収入の減少が大きく、予算比、791万円。事業収入は予定していた委託業務の実施が見送りになり、またコロナ禍による主催イベント、講演の中止、教材販売の落ち込みなどにより、1,250万円となった。助成

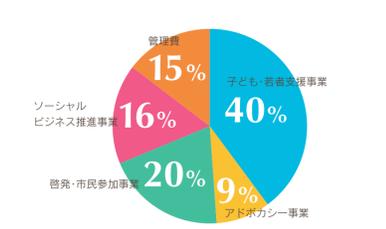
金収入は-998万円ですが、期中に1,000万円の助成金を獲得しており、実働が次年度のため2019-20年度は前受助成金とされています。支出についてもコロナ禍の影響を受け、海外出張を取りやめにより旅費交通費が-803万円、ファンドレイズ

とPR活動を一部実施しなかったため外注費が-429万円、イベント会場費としての賃借料が-236万円と減少したものの、収入の減少幅よりも少なかったため赤字となりました。日本政策金融公庫から3,000万円の融資を受け、当面の資金を確保しつつ、財務基盤強化を図ります。

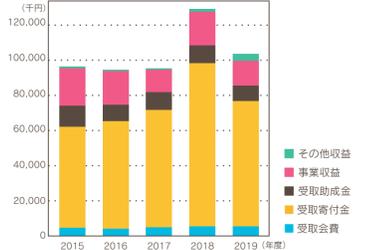
収入内訳



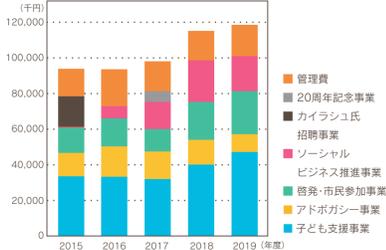
支出内訳



収入の推移



収入の推移



ご支援いただいたみなさま

2019年度も多くの個人・企業・団体のみなさまにさまざまな形でご支援をいただきました。あたたかいご支援に、こころより感謝申し上げます。

個人会員・寄付

正会員102人 賛助会員58人 子ども・権利サポーター502人 一時寄付742人

法人会員 43企業・団体

旭化成株式会社 繊維事業本部 ベンベルグ事業部 | アシックスユニオン | アツギ労働組合 | アパレルアイ株式会社 | 株式会社アバンティ | 有限会社イトウウェル | 井関産業株式会社 | 株式会社イケイケ | コーポレーション | ウォルト・ドリスコー・ジャパン株式会社 | 江崎グリコ株式会社 | SUI ACEを支援する会 | MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社 ゆにそんスマイルクラブ | 株式会社大川印刷 | OrangeOne株式会社 | 株式会社グリーンエバー | 株式会社クレアン | 興和株式会社 | 小林メリヤス株式会社 | 株式会社小宮コンサルティング | SATURDAYS | 山陽製紙株式会社 | 株式会社シンソーン | 株式会社新藤 | 株式会社スピーティ | 株式会社セレスポ | 仙台ACE支援書道教室 | 仙台児童発達支援センター | タカシマヤ靴のぶどう基金 | タキヒコ株式会社 | 株式会社立花商店 | 特定非営利活動法人テラルネツサス | 日本食品関連産業労働組合総連合会(フード連合) | のら猫ロボット(株式会社エールエデザイン総合研究所) | 株式会社プレート | 株式会社プレセナ | ストラテジックパートナーズ | みちのロボットクラブ | みんな電力株式会社 | 森永製菓株式会社 | 株式会社ヤマグチマカ | UAセンセン | 有楽製菓株式会社 | ロート製菓株式会社 | ロイトレジスタージャパン株式会社

法人寄付 62企業・団体

アシックスユニオン | 医療法人社団友協会 | 株式会社アバンティ | 株式会社エンゼルの森 | 株式会社神奈川プロ | 株式会社グッドマンサービス | 株式会社吉藤事務所 | 株式会社サンウェル | 株式会社ゼンズアイ | フードシステムズ | 株式会社フェリシモ | LOVE&THANKS基金 | 株式会社フクイ | キュービー株式会社 | QPeace | 埼玉東立川口高等学校 | ショコラティエ | バレド オール/株式会社オヴアルリエンジン | 捜査女学校 | 高保製業工業株式会社 | 東京八王子ロータリークラブ | 特定非営利活動法人WE21 | ジャパン都筑 | 日本教職員組合 | マツオインテナーショナル株式会社 | 宮城学院中学校・高等学校 | 森永製菓株式会社 | 株式会社ヤマウチスプリング製作所 | UAセンセン | 有限会社チェンジ・エージェンツ | 有楽製菓株式会社 | LORIMER株式会社
*紙面の都合により、5万円以上の寄付をいただいた団体・法人のみ掲載しています。

その他の協賛・協力

AFRIKA ROSE | NTT労働組合 東京総支部 | サイボウズ株式会社 | 松山オフィス | タカシマヤ靴のぶどう基金 | テロイト トーマツ コンサルティング合同会社 | ブックオフオンライン株式会社 | 株式会社オウルズコンサルティンググループ | 株式会社セールスフォース・ドットコム | 株式会社デジタルキューブ | 株式会社テラスカイ | 樹山学園大学 村上ゼミ | MATSURUN | 有楽製菓株式会社 | READYFOR株式会社

助成金

連合 愛のカーン | 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金 | 独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金 | 公益財団法人かめり財団 | Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs 海外助成 | 株式会社セールスフォース・ドットコム | 公益財団法人大阪コミュニティ財団 ストリートチルドレン等救済基金 | みてお基金 | 一般社団法人バチンコバチンコ社会貢献機構 一般助成 子どもへの健やかな成長を願う事業 | 厚生労働省 雇用調整助成金

組織概要



特定非営利活動法人 ACE

〒110-0005
東京都台東区上野六丁目1番6号
御徒町グリーンハイム1005号
*全スタッフが在宅勤務のため、こちらにACEスタッフはおりませんので、訪問はご遠慮ください。

TEL 03-3835-7555
FAX 03-3835-7601
(受付 | 平日 10:00～17:00)

設立 / 認証年月日

1997年12月1日 設立
2005年8月8日 東京都よりNPO法人に認証
2010年3月31日 国税庁より認定NPO法人として認定
2015年1月19日 東京都より認定NPO法人として認定
2020年4月28日 東京都より認定NPO法人として認定

事業内容

子ども・若者支援事業
アドボカシー事業
啓発・市民参加事業
ソーシャルビジネス推進事業

受賞歴

*第2回 The Japan Times Satoyama & ESGアワード【特別賞】(2020)
*第8回若者力大賞【ユースリーダー支援賞(団体部門)】(2017)
*平成26年度「消費者教育教材資料賞」最優秀賞
*平成27年度同優秀賞(2016)
*第5回エクスレイト NPO 大賞【市民賞】(2016)
*第4回日経ソーシャルイノベーション大賞【国際部門賞】(2016)
*NGO組織強化大賞【女性スタッフの雇用・活躍部門】(2016)
*平成26年度「消費者教育教材資料賞」優秀賞(2015)
*最近5年(2015年～20年)の主な受賞を記載しています。

スタッフ

職員 14名 インターン1名

役員

理事 7名	岩附 由香	小林 裕
	白木 朋子	新谷 大輔
	安永 貴夫	宮本 聡
	丹羽 真理	
監事 2名	大石 貴子	矢崎 芽生

*体制は2020年8月時点

活動計算書

科目	金額
I 経常収益	103,633,433
1 受取会費	4,550,000
2 受取寄付金	72,102,952
3 受取助成金等	8,795,519
4 事業収益	14,595,690
5 その他収益	3,589,282
II 経常費用	117,878,253
1 事業費	100,422,117
人件費	49,316,224
その他経費	51,105,893
2 管理費	17,456,136
人件費	9,847,394
その他経費	7,608,742
当期経常増減額	△14,244,810
III 経常外収益	0
IV 経常外費用	52,292
税引前当期正味財産増減額	△14,297,102
法人税、住民税及び事業税	103,700
当期正味財産増減額	△14,400,802
前期繰越正味財産額	26,804,401
次期繰越収支差額	12,403,599

ACEの支援方法と 用途について



認定 NPO 法人である ACE へのご寄付や賛助会費は税額控除や寄付金控除の対象となります。ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

会員	正会員(一般、子ども・学生)	ACEの事業と組織運営全体をご支援いただきます。正会員は総会の議決権を持ち、組織運営に参加いただけます。
	賛助会員(個人、企業、非営利団体)	賛助会員(個人、企業、非営利団体)には議決権はありません。

寄付	子どもの権利サポーター	1,000円以上の任意の金額を毎月ご寄付いただく制度です。寄付は国内外の各事業に使われます。
	ACE募金	児童労働をなくするための国内外の活動に使われる募金です。
	チョコ募金	カカオ生産地域での児童労働をなくするための活動に対する募金です。
	コットン募金	コットン生産地域での児童労働をなくするための活動に対する募金です。
	チャイルドフレンドリー募金	海外で実施する活動に使われる募金です。

基金	世界の子どもも権利基金	NPO法人5周年を記念し設立した基金です。周年事業の実施、新規事業や組織基盤の強化に使われます。
----	-------------	--

各メディアにて
情報発信しています。

website
www.acejapan.org

Twitter
@ace_japan

Facebook
@acejapan

Instagram
@npo_ace_japan

YouTube

LinkedIn
ACE

ACE Annual Report 2019.09▶2020.08

数字で見るACE 2019 年度

児童労働撤廃を目指すACEの活動を支えていただき、誠にありがとうございます。まずは2019年度の活動を数字で見てください。

個人でのご支援

1,847人

個人会員(正会員、賛助会員) 160人
子ども・権利サポーター 502人
個人寄付 742人
オンラインショップ利用者 443人

2019年度に児童労働を無くす活動にご支援いただいた人数。ACEの会員として支えてくださる方々をはじめ、クラウドファンディングなどを通じてご寄付いただいた方々、チョコレートやコットンなどの取り組みに賛同してご寄付をいただいた方々、ACEの目指している世界がとてかく好き！と支えてくださる方々。これまでのべでなんと1万人以上のかたがたからご支援をいただきました。

法人でのご支援

105社・団体

法人賛助会員 43社
法人寄付 62社・団体
NGOという企業からは敬とみなされてきたこともありましたが、ACEは、企業を攻撃するよりも、企業をサポートすることでともに児童労働を無くすという目標に進めるはず！と信じてこれまで活動してきました。そして今では、法人会員が43社になりました。法人からのご寄付はのべ62社に上ります。

2019年度に児童労働を無くす活動にご支援いただいた人数。ACEの会員として支えてくださる方々をはじめ、クラウドファンディングなどを通じてご寄付をいただいた方々、チョコレートやコットンなどの取り組みに賛同してご寄付をいただいた方々、ACEの目指している世界がとてかく好き！と支えてくださる方々。これまでのべでなんと1万人以上のかたがたからご支援をいただきました。

伝えた人数

27,626人

講師派遣 3,080人
Twitterフォロワー 6,670人
facebook 8,210人
Instagram 900人
メルマガ 8,766人

児童労働の無い世界を実現する第一歩は、まず知ってもらうこと。ACEはそもそもその思いから設立されました。27,626人は、2019年度に児童労働について伝えた人の数で、講師派遣で受講された方々、SNSをフォローしてくれた方々、メールマガジンの購読者数の総数です。講師派遣だけでもこれまで7万人以上、児童労働という問題を伝えられました。

児童労働から解放した子ども

2,360人

*2020年8月末時点

日本で児童労働の問題を伝えることと同時に、もちろん現地での支援も欠かせません。ACEでは、ガーナの 카카오産とインドのコットン産という、消費者である日本人と繋がる深いエリアを対象にしたプロジェクトを行っています。プロジェクトの開始からこれまでにインドとガーナの28国で、2,360人の子どもを児童労働から救い、約1万3500人の教育を支援してきました。



インドで行った緊急食糧支援

53世帯

新型コロナウイルスは、ACEの支援地にも多大な影響を与えました。インドのコットン産地でも先行きが不透明になり、多くの人の収入が絶たれてしまいました。その中でも政府の支援を受けられなかった、特に困窮している53世帯に向けてACEでも緊急支援をしました。

日本の児童労働に関する活動

8,000部

児童労働は先進国にもあります。もちろん日本でも、労働基準法などを解説したリーフレット、高校生向け「あなたのアルバイトは、だいじょうぶ?」を6200部、使用者向け「あなたの職場で、年少者の労働環境が守られていますか?」を1800部配布し、定時制高校などで活用されています。また、報告書「日本にも存在する児童労働」を発行し、日本の児童労働について知ってもらう第一歩となりました。(ACEウェブサイトで公開)



Highlights ACEが2019年度に力を入れてきたこと

児童労働を取り巻く状況と仕組み

児童労働の背景には、様々な問題があります。子どもを取り巻く家庭やコミュニティのレベルから、教育、学校の問題、経済の構造的な問題や政治・行政に関わる問題(ローカルとグローバルの両方)、こうした世の中を動かす人々の考え方の問題まで、複雑な要素が絡み合っています。そのため、子どもたちが望ましい状態になるための活動も、同時に色々な視点とレベルで行っていく必要があると、私たちは考えています。ここでは2019年度にACEが特に力を入れて行った活動についてお伝えします。

子どもたちの学びを支える

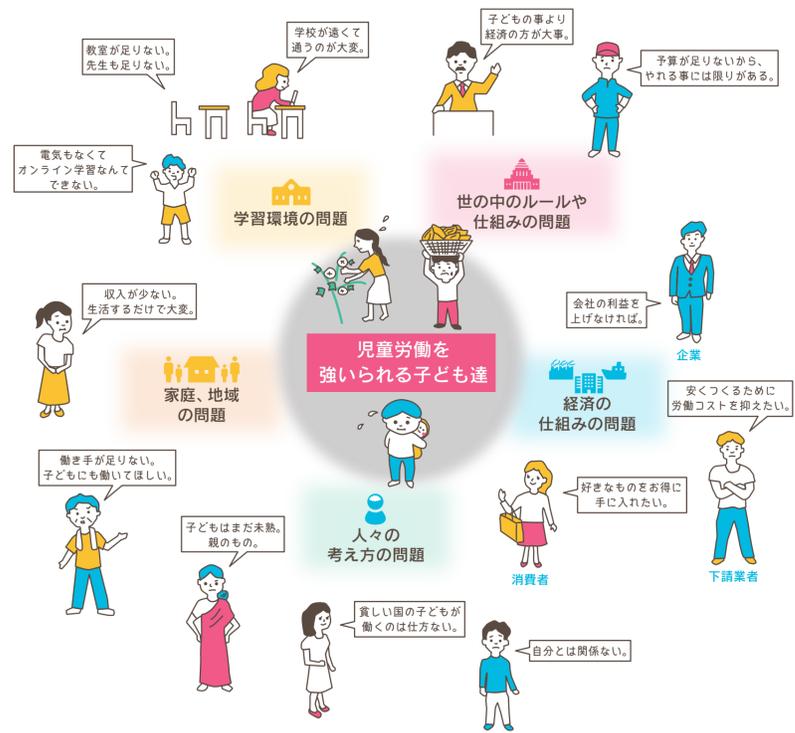
児童労働に直面している子どもや家族への直接支援や、地域コミュニティや学校を通じた取り組みを、インドとガーナで続けています。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大により、学校の休校や、人数を集めての集食の制限等の影響が、ACEの活動地域にも及びました。インドでは、プロジェクトで運営する補習学校や職業訓練センターを開くことができない状況が続きました。休校中は家庭訪問やセミナーを通じ、家庭学習や家で過ごす仕方について伝え、子どもたちの学びの継続と、児童労働や虐待の発生防止に取り組まれました。

家庭、地域を支える

政府による外出禁止や移動制限等の措置は、雇用機会の減少や青空市場の閉鎖等による家庭の収入減をもたらした、児童労働者が増加するリスクが高まりました。そのため、インドとガーナの活動地域で子どもとおとなを対象にした緊急調査を行いました。特にインドの状況が深刻であるとの判断から、「ピース・インド プロジェクト」を実施している3村において、政府からの支援を十分に受けていない国際系世帯への緊急食糧支援を決定。クラウドファンディング等を活用し、食糧配布等の支援を行いました。

人々の考え方を支える

家庭やコミュニティ、経済や政治、世の中を動かしているのは人。つまりは、人々の中にある考え方が、この世の中を作り出していると言えます。児童労働を止めるとする子どもにもつかわる課題が山積している背景には、子どもの権利が大切にされない現状があると考えられています。日本では昨年度から引き続き、「げいよう」子どもの権利条約キャンペーン」の共同事務局を務めました。2019年11月には約650人が参加した「子ども権利条約フォーラム2019」を開催しました。コロナ禍以降は、YouTube等オンラインでの情報発信も強化しました。これらを通じて、子どもの権利を中心とした考え方の浸透に取り組まれました。



世の中のルールや仕組みを変える

コミュニティレベルの活動を続けてきたガーナでは、政府の児童労働撤廃国家計画の一部である「児童労働フリーゾーン(CLFZ)」制度の実現に、2018年から取り組んできた。日本のテロイト トーマツコンサルティングの協力のもと、ガーナの雇用労働省やILO、労働組合、NGOで連携してきた結果、2020年3月にCLFZの基準・実施手順をまとめたガイドラインが完成、施行されました。

日本では、2020年10月に完成した「ビジネスと人権に関する国際行動計画(NAP)」の策定プロセスにおいて、日本政府に対するパブリックコメントを提出しました。コメントの一部が反映され、児童労働に関する計画の強化につながりました。

経済の仕組み

ビジネスに関する重要な人権課題のひとつとして、企業のサプライチェーン上の児童労働の解決が進むよう、カカオやコットンを中心とした企業や業界との対話を進めてきました。2020年度は有楽製菓が「2025年までに児童労働撤廃」へのコミットメントを表明したほか、不二製菓グループも「責任あるカカオ調達方針」の中で児童労働への取り組み強化を発表しました。2020年1月には、政府、企業、NGOなどが連携してカカオにまつわる課題に取り組む場として、JICA(国際協力機構)により「開発途上国に向けたサステナブル・カカオ・プラットフォーム」が設立されました。(2020年7月時点でACEを含む18組織が加盟)。

カカオ、コットンに次ぐ産業レベルの児童労働解決に向けて、みんな電力との共同プロジェクトとして、コバルト産地における調査活動も開始。企業のESG活動の投資家への影響を考慮、ユニセフとサステナブルクスが発行した「子どもの権利と投資ガダンス」を翻訳し、日本語版を発行しました。

